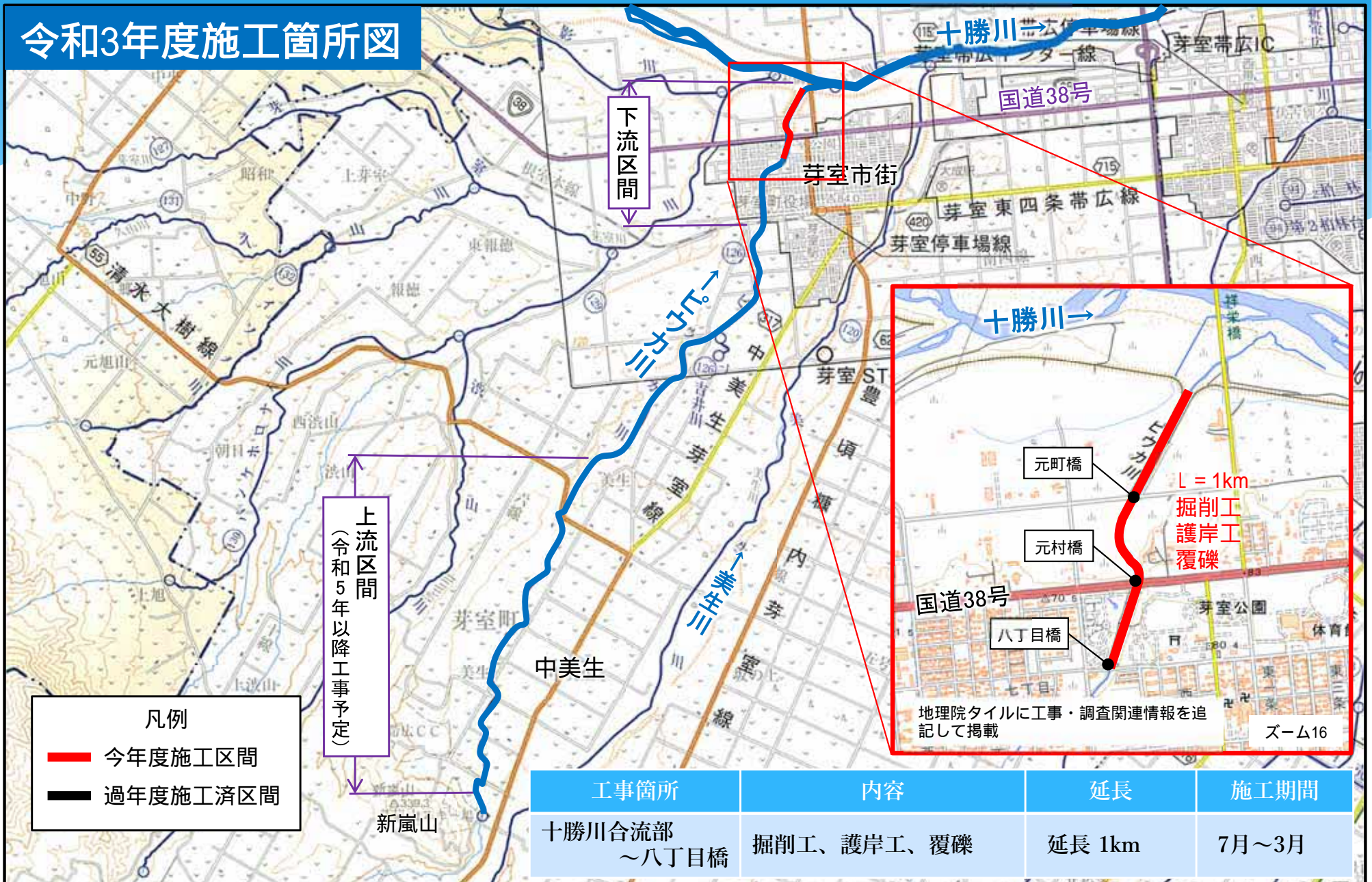


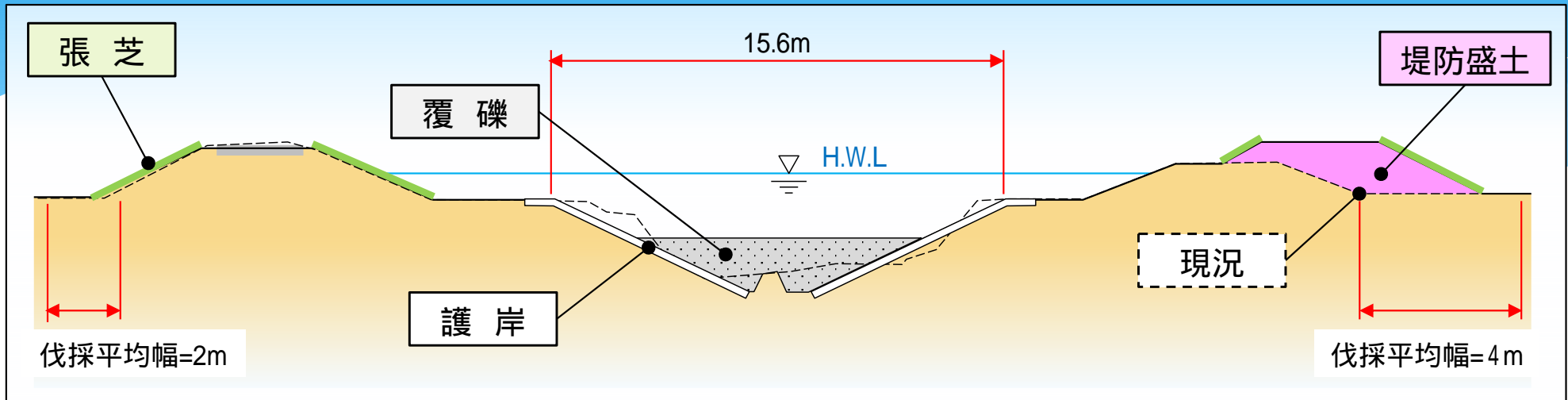
2. ピウカ川改修工事

令和3年度施工箇所図



2. ピウカ川改修工事

下流区間の横断計画



H.W.L：計画高水位（河川改修後に川を流れる流量である「計画高水流量」が、改修後の河道断面を流れるときの水位）

環境対策概要

	内容
河道内環境について	<ul style="list-style-type: none">河床部に覆礫し、魚類等の生息環境に配慮します。一定の勾配（傾斜）の河川として、魚類等が遡上しやすくします。
重要種植物について	<ul style="list-style-type: none">移植可能なものは移植します。
濁水対策について	<ul style="list-style-type: none">土のうで締め切り、その中で作業を行い、濁水を流出させないようにします。

2. ピウカ川改修工事



八丁目橋下流 施工予定箇所状況(R3.8.11)

2. ピウカ川改修工事

ウチダザリガニの確認(令和元年度)

	環境調査結果
底生動物(特定外来生物)	ウチダザリガニ

青字の生物種名: 特定外来生物

- * 調査での確認箇所ではR1年10月に確認会を行い、鏡委員会のご参加をいただきました。



現地確認の様子



ウチダザリガニを捕獲する鏡委員



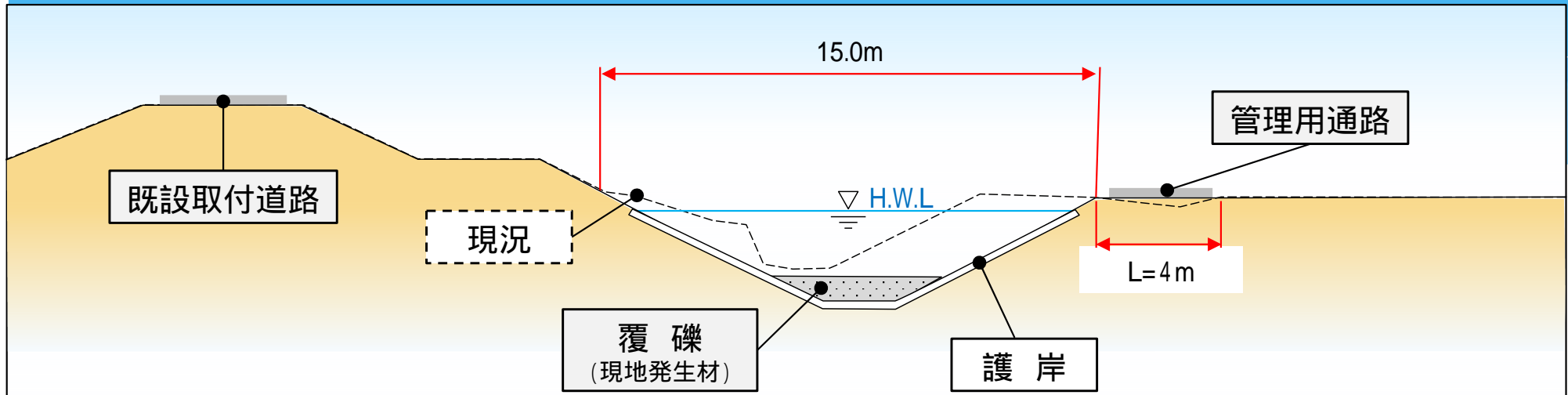
確認されたウチダザリガニ

鏡委員のコメント

- * ウチダザリガニは比較的流速が大きくても遡上する。このものは、十勝川本流から遡上したものであろう。特に今回の施工による影響はないものと考えられる。

2. ピウカ川改修工事

上流区間の横断計画



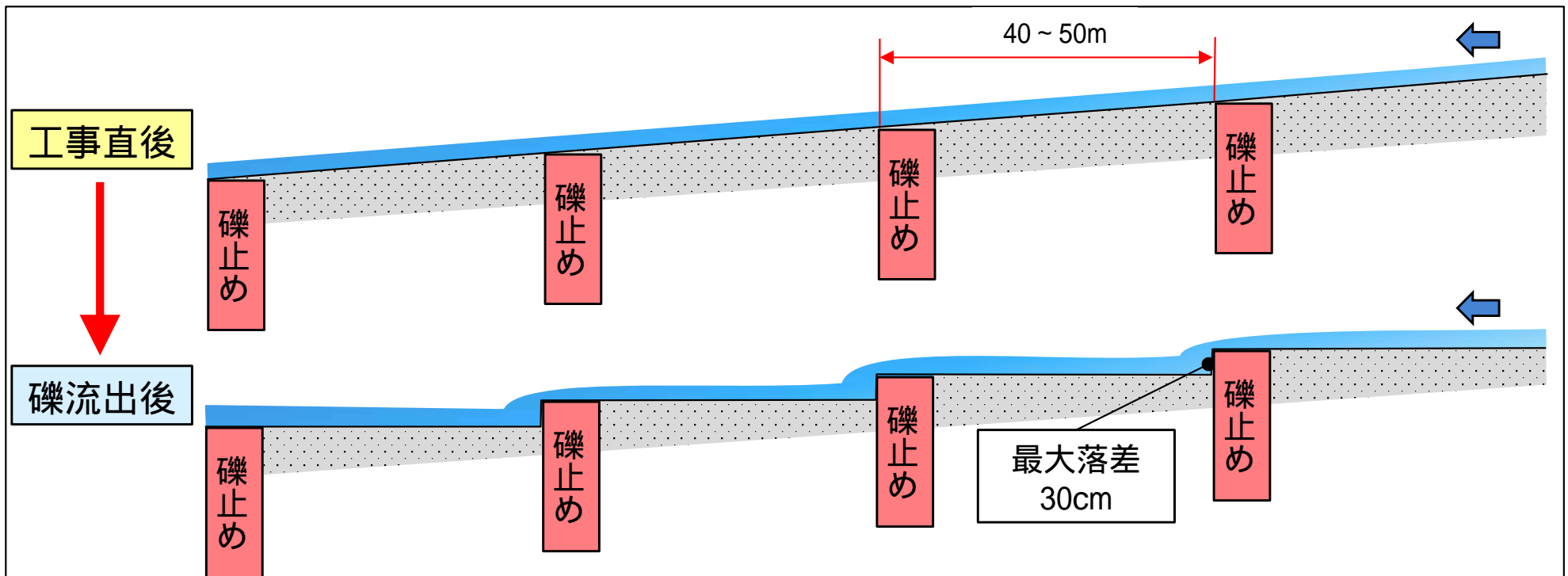
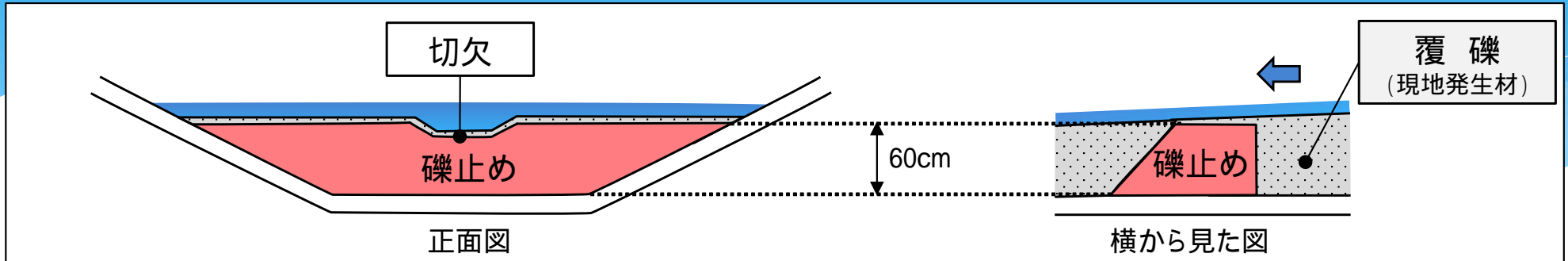
H.W.L：計画高水位(河川改修後の想定最大流量である「計画高水流量」が、改修後の河道断面を流れるときの水位)

環境対策概要

	内容
河道内環境について	<ul style="list-style-type: none">河床部に覆礫し、魚類等の生息環境に配慮します。また浚山層の表出を防止します(2ページ後を参照)。覆礫の流出を抑制するために、礫止めを一定間隔で配置します(次ページ)。一定の勾配(傾斜)の河川として、魚類等が遡上しやすくします。
重要種植物について	<ul style="list-style-type: none">移植可能なものは移植します。
濁水対策について	<ul style="list-style-type: none">土のうで締め切り、その中で作業を行い、濁水を流出させないようにします。

2. ピウカ川改修工事

覆礫の流出抑制方法(礫止め)のイメージ

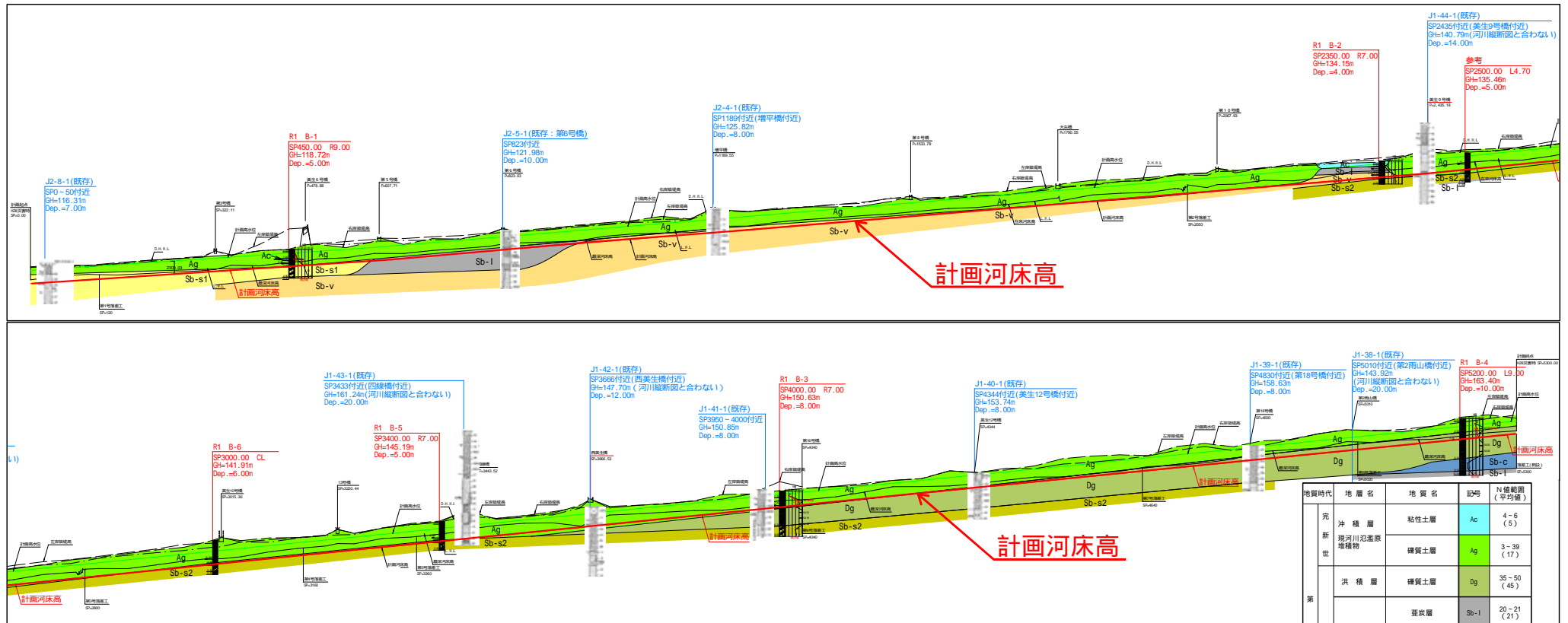


* 礫止め間隔を40~50mにすることで落差を30cm以下に抑え、魚類が遡上しやすくします。

2. ピウカ川改修事業

河床の地質に関して

* 掘削により洪山層が現れる場合に備え、川底を礫で覆います。



地質縦断面図

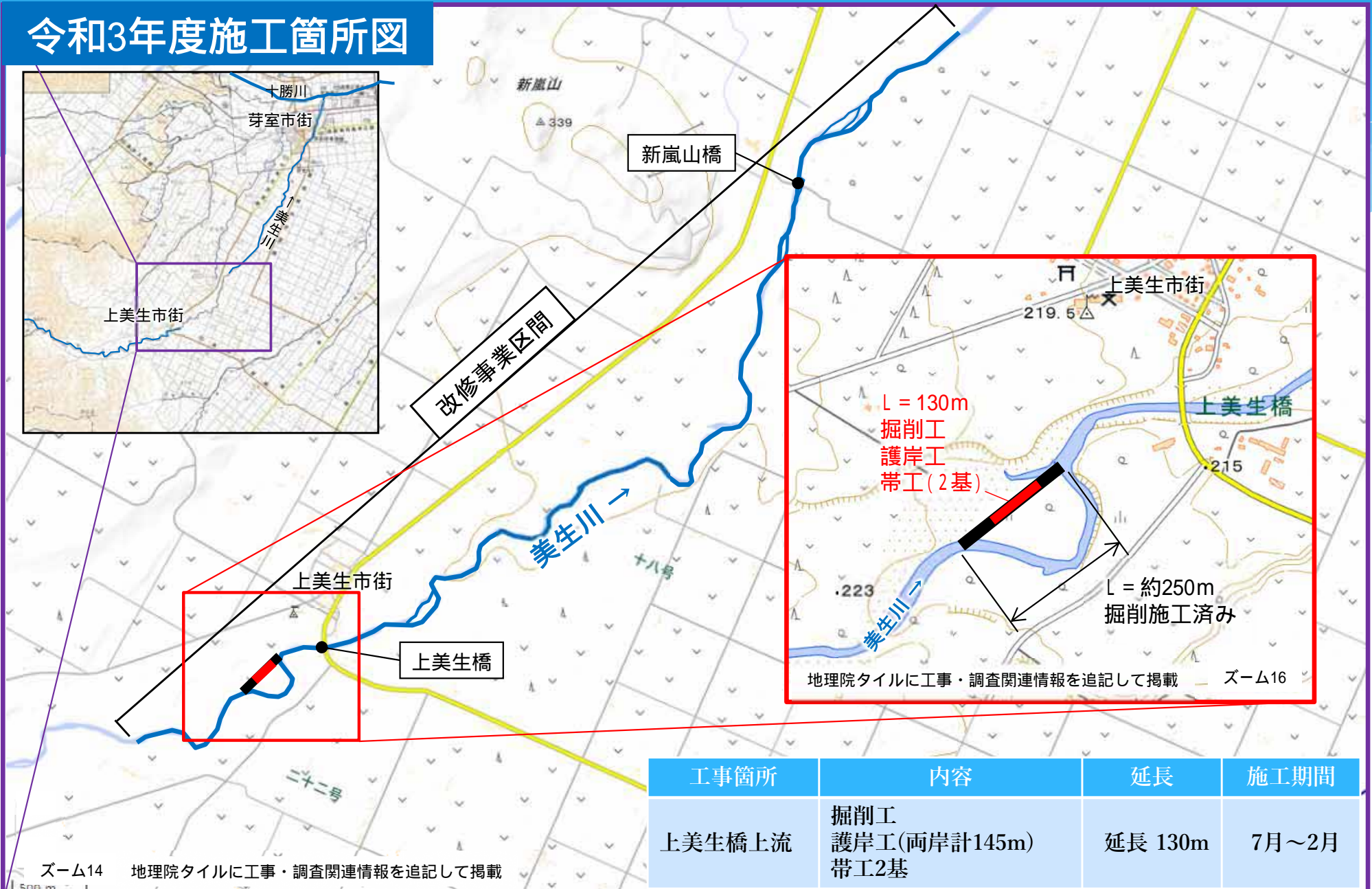
洪山層

地質時代	地層名	地質名	記号	N値範囲 (平均値)
完新世	沖積層	粘性土層	Ac	4-6 (5)
	現河川氾濫原堆積物	礫質土層	Ag	3-39 (17)
第四紀新世	洪積層	礫質土層	Dg	36-50 (45)
	洪山層	垂灰層	Sb-l	20-21 (21)
		粘性土層	Sb-c	6 (6)
		砂質土層1	Sb-s1	32 (32)
		火山灰層	Sb-v	26-39 (33)
砂質土層2	Sb-s2	25-33 (29)		

平均値：N値50以上は50を上限として平均値を算出。
補正N値を含む
Ag層はN値のばらつきが大きいので標準偏差を考慮して平均値を算出。

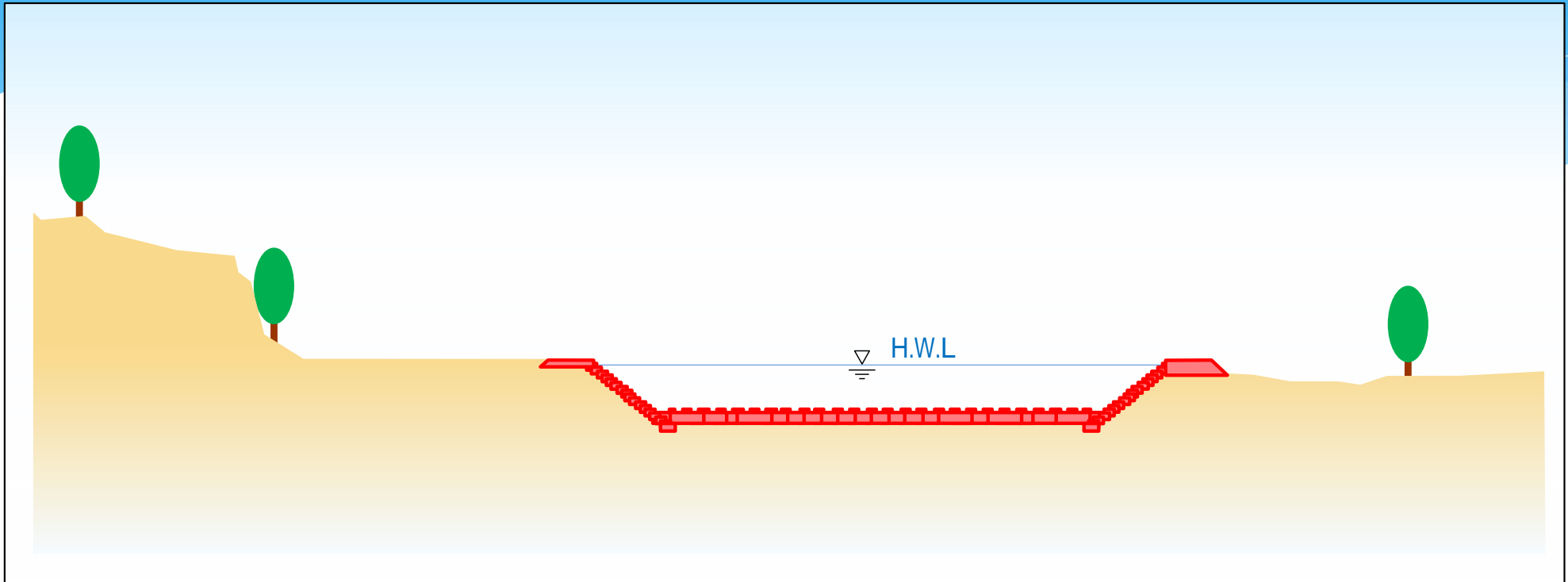
3. 美生川改修工事

令和3年度施工箇所図



工事箇所	内容	延長	施工期間
上美生橋上流	掘削工 護岸工(兩岸計145m) 帯工2基	延長 130m	7月～2月

上流から見た横断イメージ



H.W.L : 計画高水位 (河川改修後に川を流れる流量である「計画高水流量」が、改修後の河道断面を流れるときの水位)

環境配慮事項

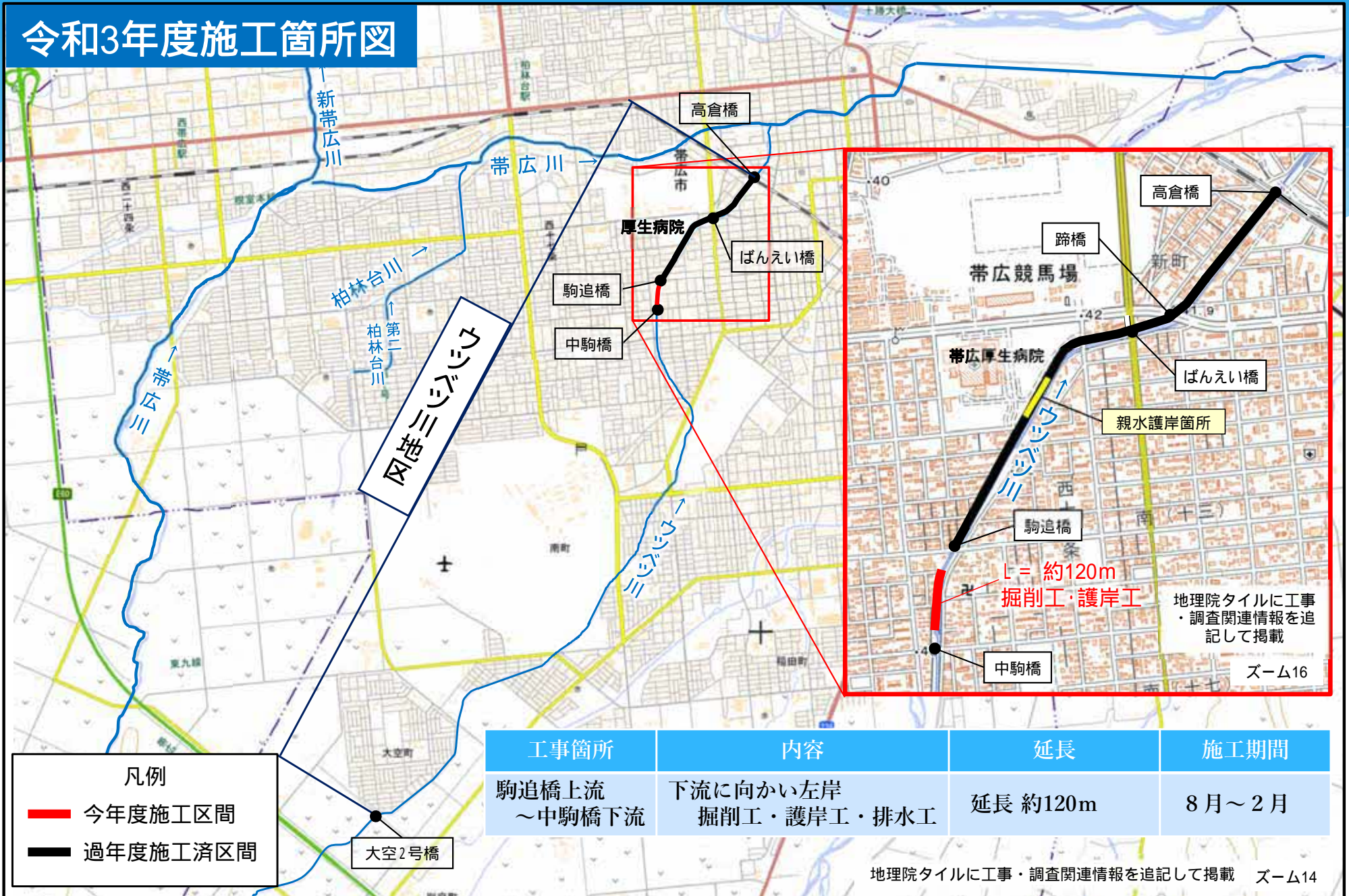
- * 重要種植物（樹木）の生育が多いが、河道の掘削には支障がないため、法面、法肩等に生育しているものについては伐採をせず、希少種の保全に努め、環境に配慮しています。



上美生橋上流 施工予定箇所状況(R3.8.12)

4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

令和3年度施工箇所図



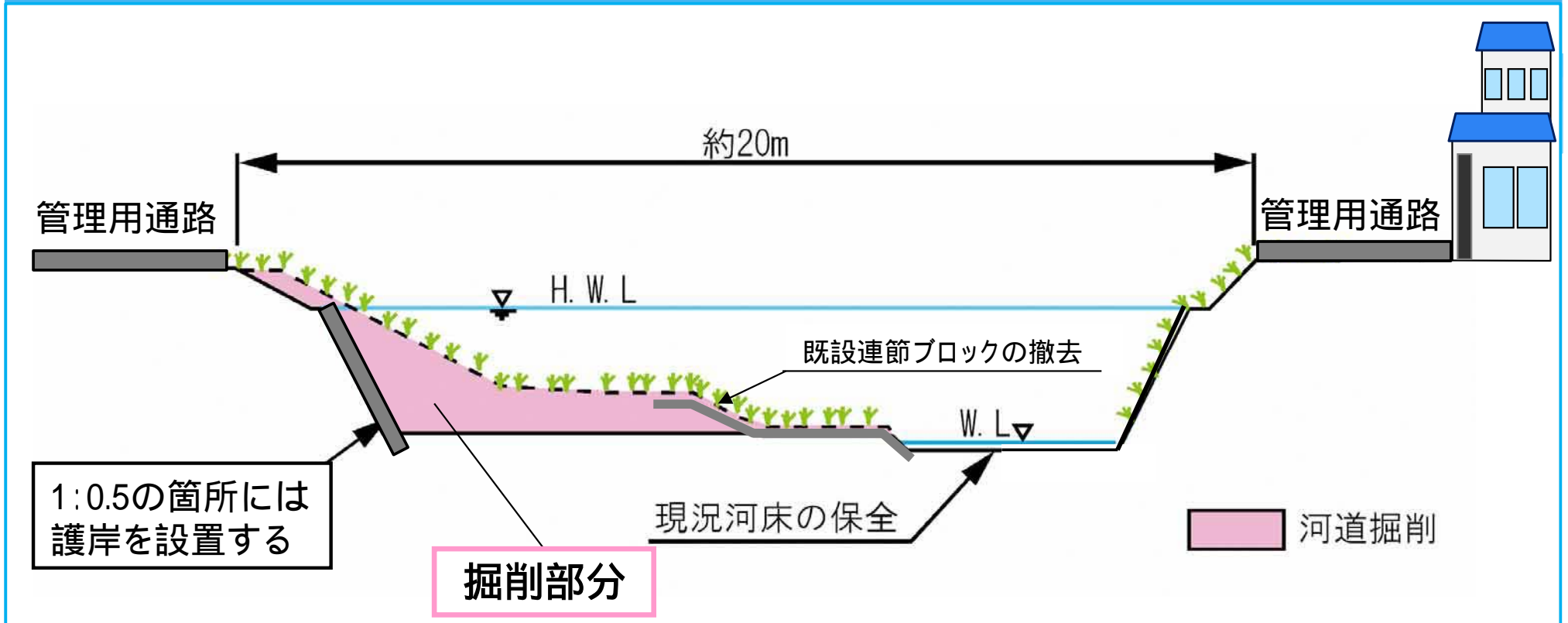
凡例
 ■ 今年度施工区間
 ■ 過年度施工済区間

工事箇所	内容	延長	施工期間
駒追橋上流 ～中駒橋下流	下流に向かい左岸 掘削工・護岸工・排水工	延長 約120m	8月～2月

地理院タイルに工事・調査関連情報を追記して掲載 ズーム14

4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

計画断面図



上流から見た図

4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）



駒追橋上流：施工予定箇所状況（R3.8.12）

4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

環境配慮事項

- * 植物調査結果で重要種が施工区間にある場合は、下流の過年度施工区間に移植しています。
- * 蛇行した低々水路を掘削し、**重要種魚類**の遡上に配慮しています。



駒追橋下流：施工済み箇所の水路状況(R3.10.22)

4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

令和3年度 調査概要

		調査時期	調査箇所
環境調査	植物調査	5月12日 7月12日 9月	• 今年度施工区間：駒追橋～中駒橋
	魚類調査 (産卵床)	9～10月	• 帯広川合流点～大空2号橋
	底生動物調査 (ザリガニ類)	7月19、20、21日	• 次年度施工区間：中駒橋～春駒橋 • バーブ工施工区間：高倉橋～養鯉橋（補足調査）



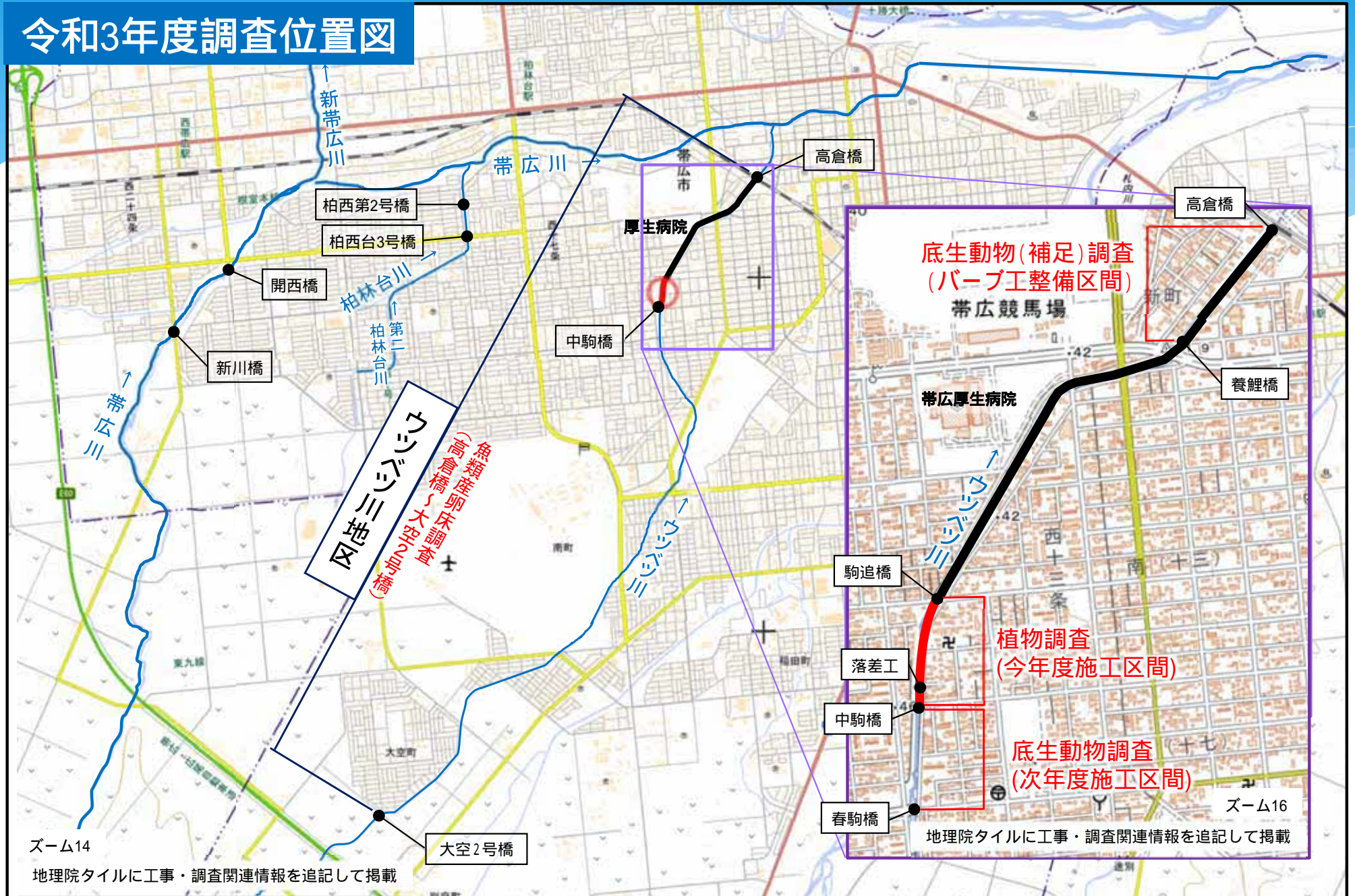
植物調査



ザリガニ類調査

4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

令和3年度調査位置図



4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

調査結果速報

		結果概要
植物調査	春季：5月12日 夏季：7月12日 秋季：9月(未整理)	移植対象となる重要種植物は確認されていません。
魚類調査 (産卵床)	9月～10月	(未整理)

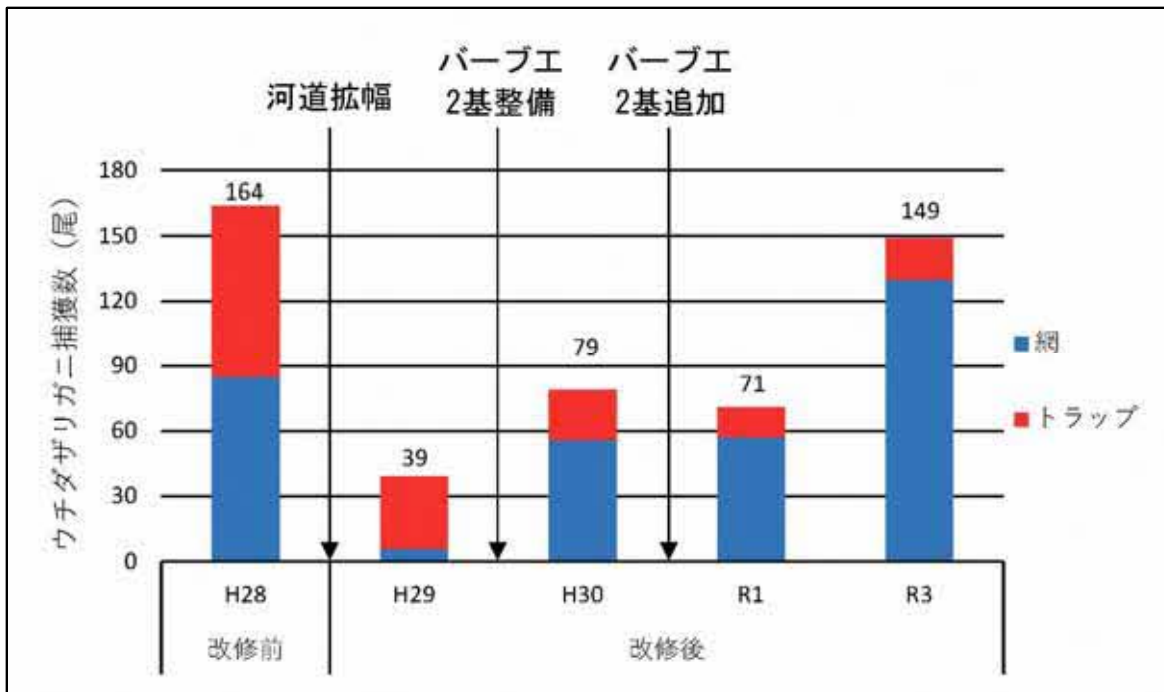
4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

調査結果速報

		結果概要	
底生動物調査 (ザリガニ類)	7月19～21日	次年度施工区間 (中駒橋～春駒橋)	ウチダザリガニ※ 515個体
		H28施工済み：バープ工整備区間 (高倉橋～養鯉橋)	ウチダザリガニ※ 149個体

青字：特定外来生物

ウチダザリガニ：H28施工済み区間の経年変化



* 施工直後は減少しましたが、その後増加し施工前の確認数に近づいています。

特定外来生物の写真は、別資料「対象河川で確認された生物」をご参照ください。

4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

親水利用に向けた活動：厚生病院付近の親水護岸箇所

- * 6月26日、鏡委員も参加してワーキング参加団体である十勝川中流部市民協働会議との協働により、水質調査と野草の移植を実施しました。
 - パックテストによる水質調査（全国一斉調査の一環）によりCOD※¹測定
 - 管理用通路沿いの植樹樹木周囲に、エゾスカシユリ・アヤメ・ミヤマキンポウゲ・クサレダマの移植



水質試験：採水（鏡委員）



水質試験：パックテスト（鏡委員）



管理用通路沿いへの野草移植

1 COD(化学的酸素要求量)：水分中の有機物含有量の指標の一つ。含まれる有機物を化学的に分解するのに必要な酸素の量

4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

親水利用に向けた活動：厚生病院付近の親水護岸箇所

水質試験結果

- * CODは1mg/ℓでした。
- * これは、有機物含有量として、湖沼の水質類型では水道1級・水産1級の水質基準に匹敵します。
- * ただし、これ以外の項目については実施しておらず、全体としての水質は不明です。
- * ちなみに、帯広市環境白書によると、ウツベツ川水辺の楽校（春駒橋上流）の令和元年度の水質は「水浴場判定基準」で「B」とされ「可」となっています。（AA、Aが適）

4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

親水利用に向けた活動：厚生病院付近の親水護岸箇所

これから

- * 令和2年度に出された委員からの意見を受け、親水護岸箇所付近における生物情報収集とそれに基づく情報パネルを作成し、管理用通路の柵に掲示する予定です。
- * なお今年度は、厚生病院の意向に基づき感染症の状況を鑑みて、院内保育所参加の活動は実施しません。

4. 帯広川改修工事（ウツベツ川地区）

親水利用に向けた検討：野草園における整備について

- * 帯広市野草園区間は、良好な河川環境であるため、現状の河道を活かした改修計画を管理担当である帯広市などと協議しながら検討しています。



野草園内のウツベツ川の様子 (R2.7.27)